参考資料

平成21年度
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

事業概要

平成21年3月31日

•平成21年度秋田河川国道事務所の主要事業箇所

安全で安心できるちいきづくり

○ 雄物川　新屋水門改築 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料1
○ 橋梁（一般国道7・13・46号）の予防保全橋梁・・・・・・・・ 参考資料2
○ 一般国道7号　本荘地区橋梁架替・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料3
○ 一般国道7号　土崎自歩道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料4
○ 一般国道46号　卒田自歩道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料5
○ 一般国道7号　象潟自歩道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料6

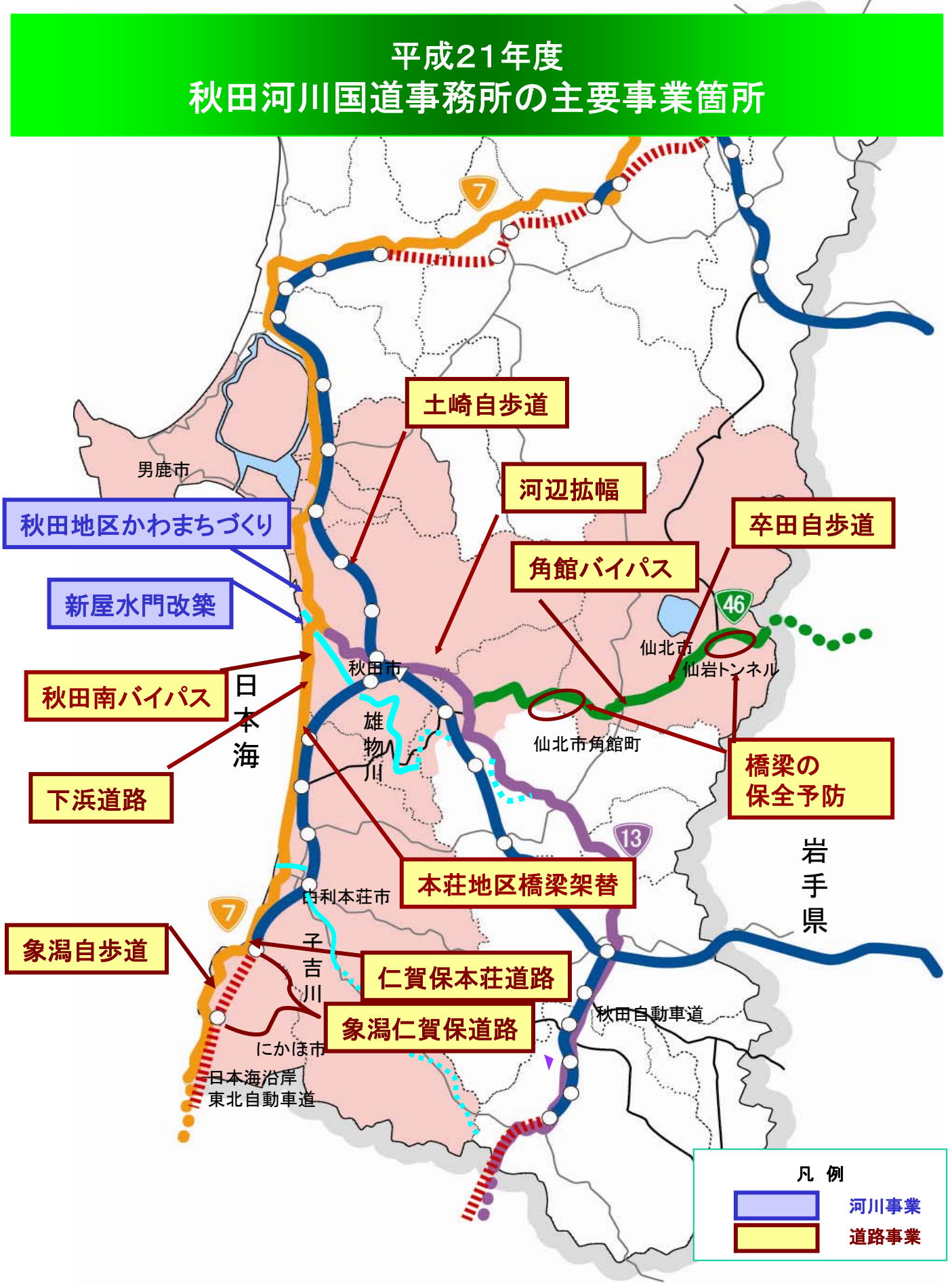
強い秋田の創造

○ 雄物川　秋田地区かわまちづくり整備・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料7
○ 一般国道7号　象潟仁賀保道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料8
○ 一般国道7号　仁賀保本荘道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料8
○ 盛岡秋田道路　一般国道46号　角館バイパス・・・・・・・・・参考資料9

魅力ある都市づくり

○ 一般国道7号　下浜バイパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料10
○ 一般国道7号　秋田南バイパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料11
○ 一般国道13号　河辺拡幅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料12

平成21年度
秋田河川国道事務所の主要事業箇所



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－1

事業名	雄物川　新屋（あらや）水門改築　－　完成
事業概要	治水機能の維持と構造物の強度確保のため、水門の全面改築を実施します。 平成20年12月に市道の迂回路を兼ねた仮締切（工事実施期間中の洪水を防ぐ仮設の堤防）の設置を開始しました。また平成21年1月には秋田県内では2例目の、土木工事と水門の機械設備工事を一括して発注する異工種JV方式により、本体工事を契約しました。 今年度は水門改築工事の完成を図ります。

事業効果

課　題

①建設後、約70年経過のため老朽化が進行し、礎部分に重大な問題確認され、大きな出水や地震により水門に大きな力がかかった場合、水門が傾いたり、転倒したりする危険性が高い。

②新屋水門背後地には、住宅地や工業地帯が集中しており、転倒の場合甚大な被害が発生する。

整備による効果

①洪水時及び地震時においても健全な構造物の確保

②背後地の住宅地や工業地帯の安全で安心な暮らしや産業活動の確保

位置図



もし新屋水門が転倒し浸水したら

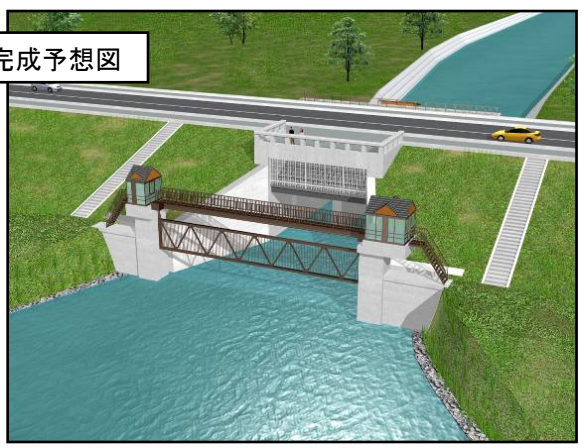


想定浸水被害：浸水面積37ha
浸水家屋178戸　工場22棟

二重締切（市道迂回路）施工状況



完成予想図



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－２

事　業　名	橋梁（一般国道７・１３・４６号）の予防保全　－　整備推進
事業概要	秋田河川国道事務所管内の一般国道７・１３・４６号は主要幹線道路であり、緊急輸送道路にも定められております。地震などで被災した場合に緊急輸送路としての機能が損なわれ、被災地の救済・復旧活動に支障をきたすと共に、地域社会・経済活動に大きな影響を及ぼす恐れがあるため、早急に橋梁補修を行い予防保全により安全性の向上を図る事を目的とし、今年度は荒川橋など７橋の補修工事を実施します。

事業効果

課　　題

①事務所管内の橋長がL=2m以上の橋梁数は約200箇所その多くは竣工後30年以上で老朽化が進行
②主要幹線道路としての、緊急輸送路の機能確保が必須
③安全性の低下は、地域社会、経済活動に大きな支障

整備による効果

①早期の補修を行い、予防保全に努め安全性の向上及び、補修コストの低減
②緊急輸送路の機能確保を行い災害時における被災地の救済･復旧活動における支援の確保
③地域社会、経済活動の確保

平成２１年度の橋梁予防保全予定箇所



橋梁補修の実施イメージ



落橋防止の腐食



主桁の欠損



補修イメージ



補修イメージ

主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

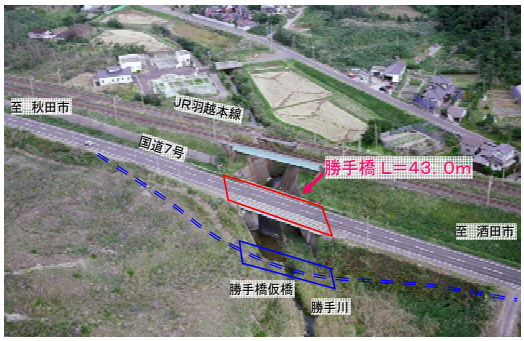
参考資料－3

事業名	一般国道７号　本荘地区橋梁架替 ― 供用
事業概要	本荘地区橋梁架替は、一般国道７号に架かる小屋川橋、親川橋、芦川橋、新衣川橋、勝手橋の5橋を塩害対策として、架替を行うもので、幹線道路としての安全性、信頼性の維持・強化を目的として整備事業を進めています。これまで小屋川橋、親川橋、芦川橋、新衣川橋の４橋について架替済です。 今年度は、勝手橋(由利本荘市岩城勝手地内)の下部工工事、上部工工事を推進し、供用を図ります。

事業効果

課題	整備による効果
①塩害による鉄筋等の腐食が進行し、落橋の可能性が高まる	①耐久性の向上
②周辺に迂回路がなく、落橋した場合は長期間にわたって交通が遮断	②交通遮断の回避
③唯一の幹線道路として、生活活動や産業活動の信頼性確保が急務	③幹線道路としての信頼性向上

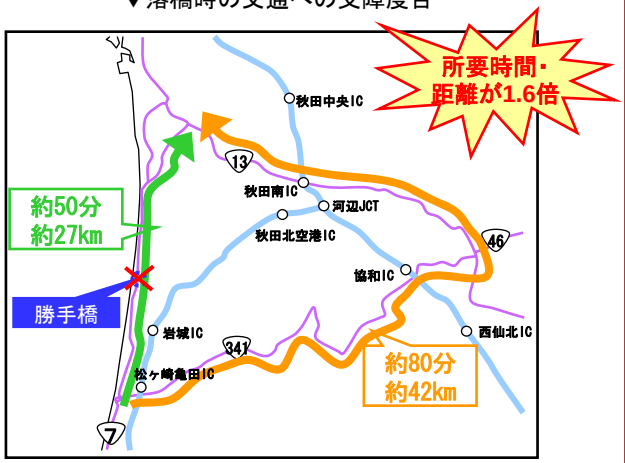




▼勝手橋の塩害状況



▼落橋時の交通への支障度合



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－4

事　業　名	一般国道７号　土崎（つちざき）自歩道　－　整備推進
事業概要	平成１６年８月に交通バリアフリー法に基づく秋田市交通バリアフリー基本構想が策定され、 JR土崎駅周辺が重点整備地区として選定されました。 旅客施設や周辺道路等のバリアフリー化と連携し、歩道の拡幅や段差改善、無電柱化、融雪設備の設置などにより、夏期・冬期を問わず高齢者や障害者等の円滑な移動及び歩行者の利便性や安全性の向上を目指します。 本事業については、平成１７年度より住民参加による計画づくりを進めており、今年度は用地取得及び一部工事を推進します。
事業効果	

現状の問題・課題

①安全･快適な歩行者通行及び 自転車利用環境の整備

⇨

期待される整備効果

①他機関と連携した安全で快適に通行できる、面的な歩行者空間の確保およびバリアフリー整備

バリアフリー重点整備地区（土崎駅周辺）



▼現況 （秋田市街方向を望む）

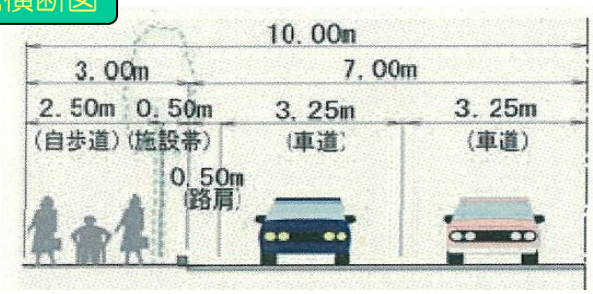


住民の皆さんとの協働（意見交換）



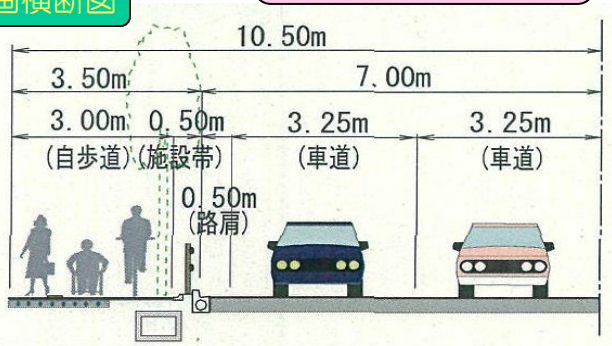


現況横断図



歩道拡幅　段差改善
無電柱化　融雪設備

計画横断図



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－５

事　業　名	一般国道４６号　卒田（そつだ）自歩道　－　整備推進
事業概要	当区間は通学路となっており、また沿線に駅や小学校等があります。しかしながら、現在の歩道の幅員及び路肩幅員が狭いことから、自転車や歩行者の路肩への迂回を発生させ、走行車両との接触機会が多く危険な状況となっています。 当区間は多雪地区でありながら、歩道幅が狭く機械による除雪ができないことから、歩道を拡幅・及び流雪溝を整備し、通学児童を含めた歩行者、自転車の安全を図ります。

事業効果

現状の問題・課題

①冬期間においては、歩道機能も著しく低下、危険性が増大
②狭隘な歩道のため、無積雪期間においても、自転車の利用環境が不十分
③児童や高齢者の、冬期間の地域内移動困難による交流の減少

期待される整備効果

①堆雪幅の確保、流雪溝の整備による冬期間の通行安全確保
②自歩道整備による無積雪期間の自転車の安全で快適に通行機能の確保
③児童や高齢者年も安全、安心して通られる自歩道道整備による、地域社会の機能確保

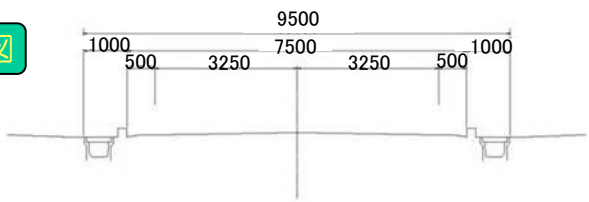
位置図



▼現況：除雪状況（秋田市方向を望む）



現況横断図

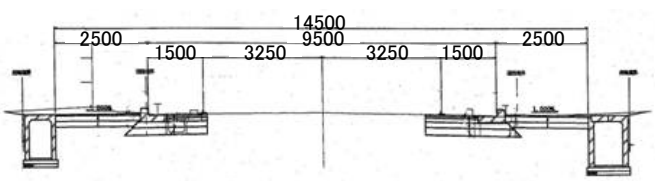


▼現況　（岩手方向を望む）



計画横断図

歩道拡幅　段差改善
耐雪幅の確保



主要事業の概要

参考資料－6

事　業　名	一般国道７号　象潟（きさかた）自歩道　－　新規事業化
事業概要	当該箇所は、秋田県にかほ市象潟町字上狐森～字琴和喜地区に位置し、沿線には道の駅象潟、総合病院、近隣には市役所象潟庁舎及び小・中学校があり、主に高齢者及び児童に利用されており通学路にも指定されております。 しかし、上下線とも歩道有効幅員が確保されていないことやマウンドアップによる波打歩道のためバリアフリー化が必要な区間になっています。 そのため、当該箇所において、自歩道の整備、波打歩道の改善により、誰もが安全かつ快適に通行可能な歩行空間を確保します。
事業効果	

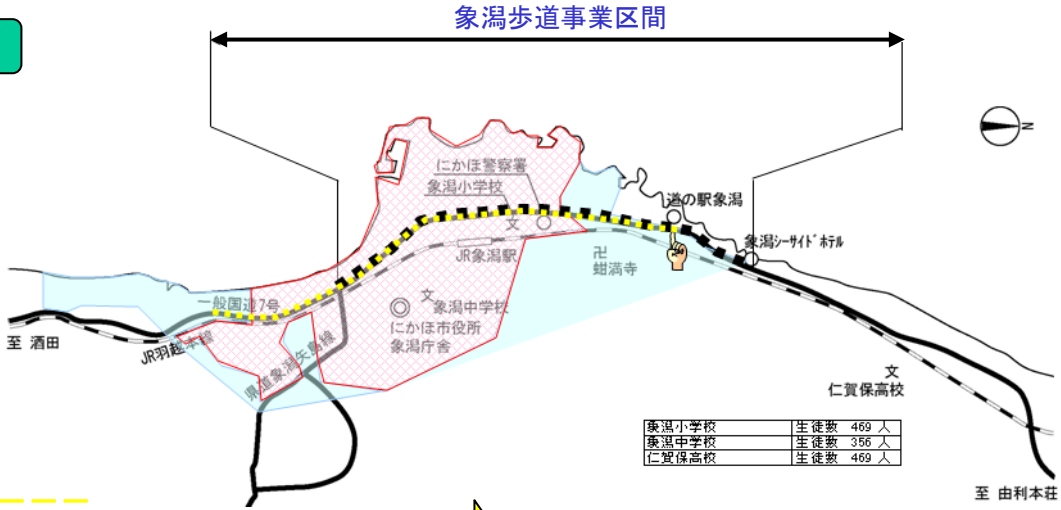
現状の問題・課題

①安全・快適な歩行者通行及び 自転車利用環境の整備

期待される整備効果

①安全で快適に通行できる歩行者空間の確保

位置図

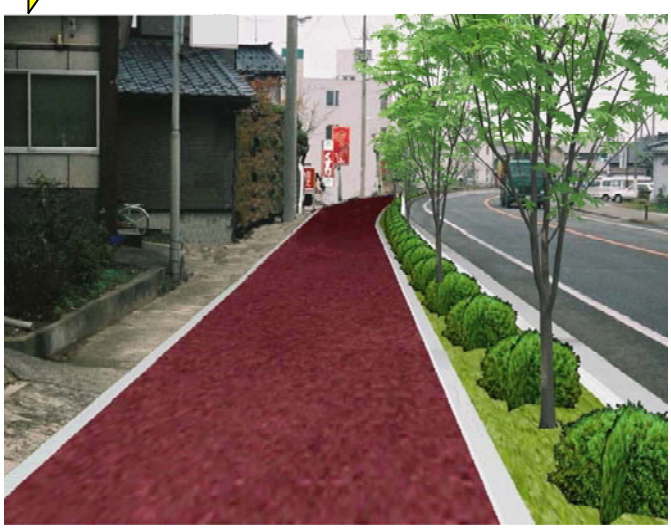


※通学路 ― ― ― ―

▼現況 （秋田方向を望む）



▼整備後イメージ （秋田方向を望む）



主要事業の概要

強い秋田の創造

参考資料－7

事　業　名	**雄物川・秋田（あきた）地区かわまちづくり整備事業　―　事業推進**
事業概要	本事業では、地域と産学官が連携し、地域活性化行動と周辺観光資源を結びつけ、新たな観光の魅力を引出し、秋田地区全体の活性化を図るために「かわまちづくり」を進めていきます。 平成19年度から民産学官参加のワークショップによる計画づくりを進めており、アイディアを基にグランドワークの実施及び他の団体と協働で「川反秋・冬の夜祭り」の開催や、川とまちとをつなぐフットパス等を整備を行いました。 今年度はワークショップを継続開催し、水遊拠点（カヌーや体験型イベントの拠点）となる三角沼において親水護岸等を整備します。
事業効果	**課　　題**　　**整備による効果**

① 民産学官の協働による「かわ」と「まち」づくりによる賑わいの創造

⇨

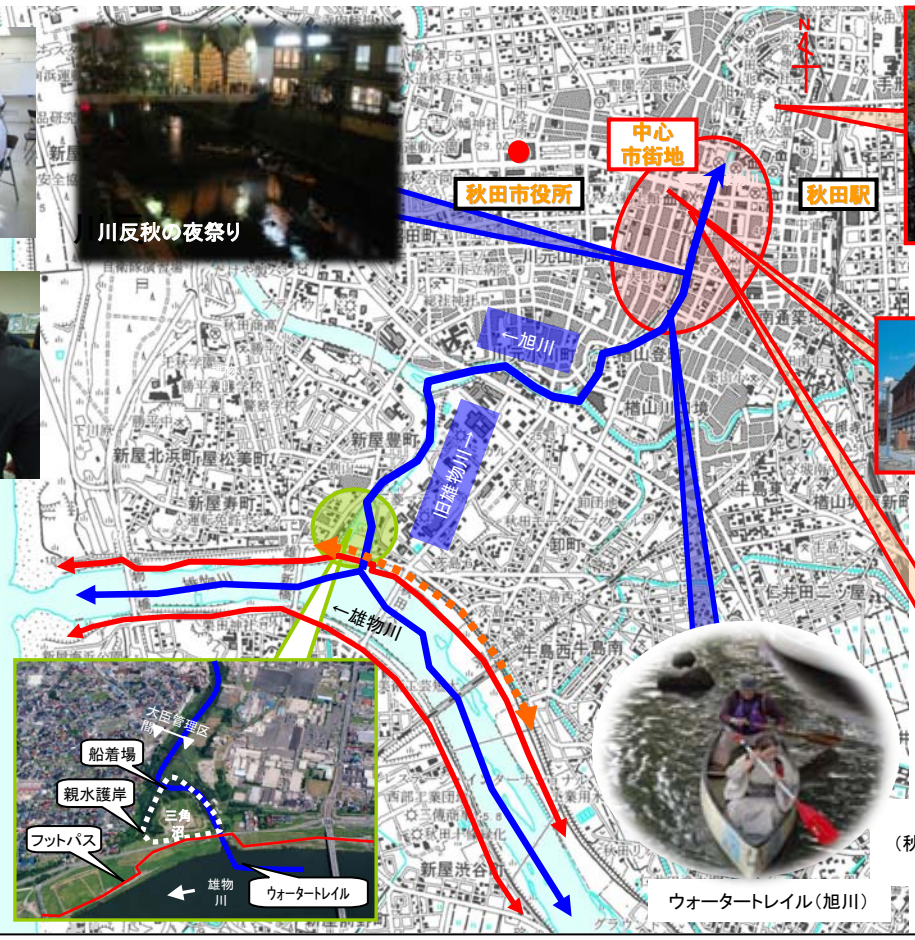
① 「かわ」と「まち」づくりによる賑わい・地域の活性化


旭川・川反地区
ワークショップ


三角沼地区
ワークショップ


フットパスイメージ

川反秋の夜祭り



ウォータートレイル（旭川）


久保田城址
（千秋公園）




ねぶり流し館
（秋田の祭りの紹介施設）

フットパス
ウォータートレイル
都市計画道路

※ウォータートレイル：カヌー等を楽しむ水上ルート
フットパス：歩くことを楽しむこみち

主要事業の概要

強い秋田の創造

参考資料－8

事業名	一般国道７号　象潟仁賀保道路－　整備推進 一般国道７号　仁賀保本荘道路－　整備推進
事業概要	一般国道７号の交通混雑の緩和や騒音など沿道環境の改善、また災害時の代替路としての機能確保などを目的に、一般国道７号の自動車専用道路の整備を進めています。 「象潟仁賀保道路L=13.7km」については、設計協議、用地買収、改良工事を推進し、琴浦川橋及び白雪川橋の下部工工事に着手します。 「仁賀保本荘道路L=12.5km」については、平成１９年９月１７日に開通した区間(にかほ市両前寺から本荘IC間11.2km)の南1.3kmについて、改良工事を推進します。

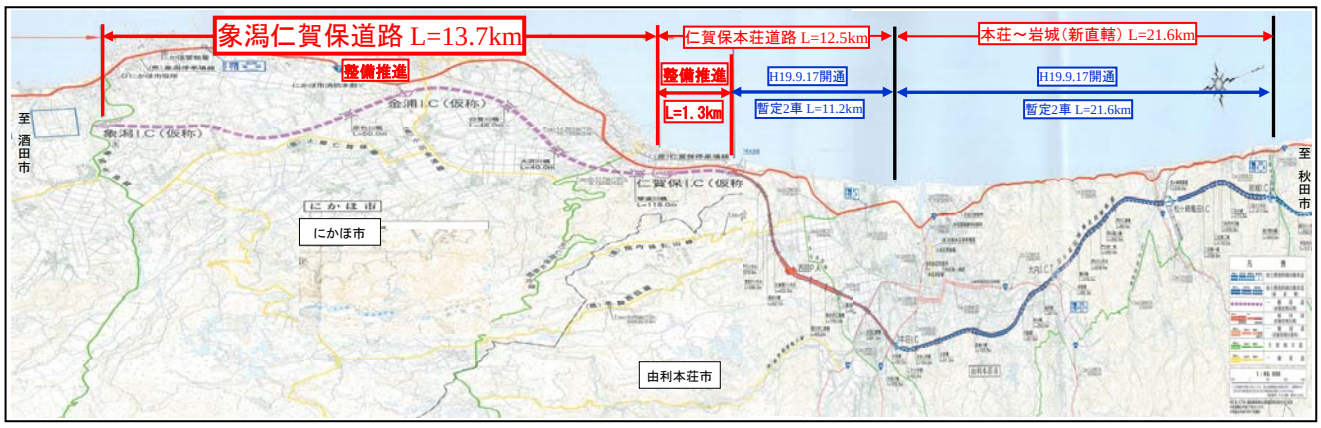
事業効果

課　　題

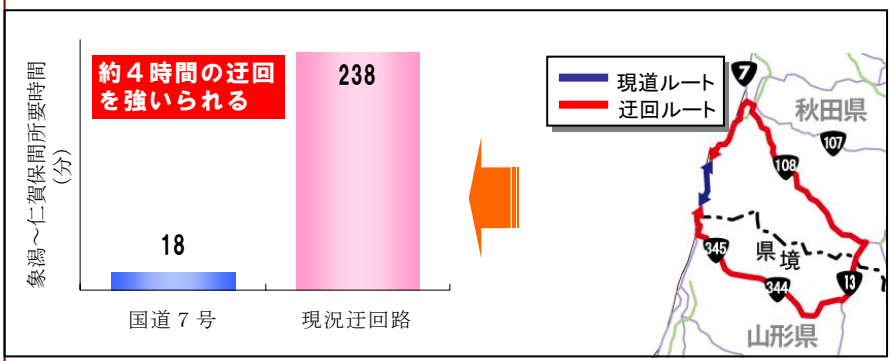
①国道７号の交通混雑や騒音など、沿道環境の悪化
②３次救急医療施設など秋田市内の主要施設のアクセス性の改善
③事故などによる通行止め時の大幅な迂回の発生

整備による効果

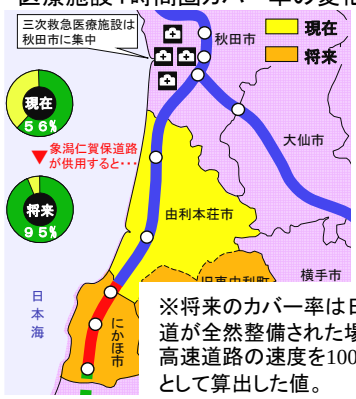
①快適で活力ある社会生活の確保
②安心できる生活の確保
③代替路による交通の信頼性確保



▼象潟～仁賀保間の所要時間（大型車）



▼本荘由利地域における三次救急医療施設1時間圏カバー率の変化



※将来のカバー率は日沿道が全然整備された場合で、高速道路の速度を100km/hとして算出した値。

事業名	盛岡秋田道路（もりおかあきた）　一般国道４６号　角館（かくのだて）バイパス　―　整備推進
事業概要	角館バイパスL=6.1kmは、秋田県と岩手県の地域間交流の促進、交通隘路（直角曲がり）の解消及び観光交通の円滑化と観光産業支援のほか、通過交通排除による現道の交通混雑の緩和などを目的に整備を進めています。 今年度は、角館町小勝田の県道日三市角館線から終点月見堂までの3.5kmについて用地買収、改良工事及び入見内川橋下部工工事を推進します。

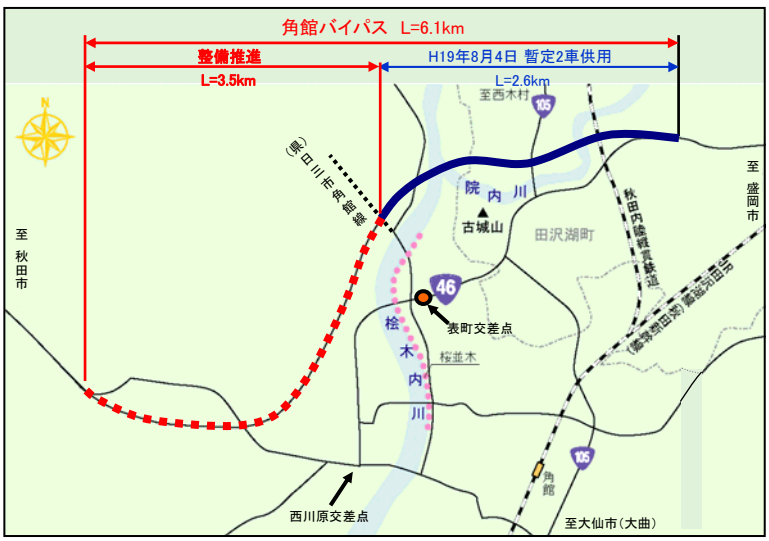
事業効果

課　題

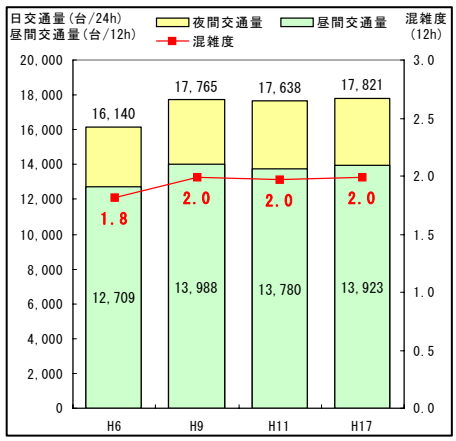
①国道105号との重複区間では平常時も交通が集中
②冬季には、幅員狭小でサービスの低下が著しい
③行楽シーズンには観光交通で渋滞が発生

整備による効果

①秋田～盛岡間の幹線交通が受ける渋滞損失の削減
②沿道の生活環境の改善、冬季道路サービスの改善
③歴史観光都市・角館の振興景観に配慮した道路整備



▼現道の交通量及び混雑度の推移



▼冬期サービスレベルの低下（国道46号西野川原交差点付近）



▼さくら祭り期間の渋滞状況
（国道46号表町交差点付近）



事業名	一般国道７号　下浜（しもはま）道路 ― 整備推進
事業概要	下浜道路L=6.2kmは、国道７号秋田市下浜地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、観光時における観光交通と通過交通の分離及び交通事故の削減のほか、地域間の交流・連携の活性化などを目的に、平成１９年度新規事業化となり、調査設計等を進めています。 今年度は、用地調査、道路・橋梁詳細設計を実施します。

事業効果

課　　題

①歩道も無い２車線道路に、約２．３万台/日の交通が集中し、渋滞や騒音などによる沿道生活環境の悪化。また、冬期の歩道確保も困難
②付近に県内有数の海水浴場もあり、観光時の交通集中による渋滞も著しい
③死傷事故が発生しており、安全安心な生活環境に支障をきたしている

整備による効果

①通過交通の排除で沿道の生活環境の改善及び学童の通学環境の改善
②観光時には、観光交通と通過交通の分離が可能
③死傷事故件数の大幅な削減

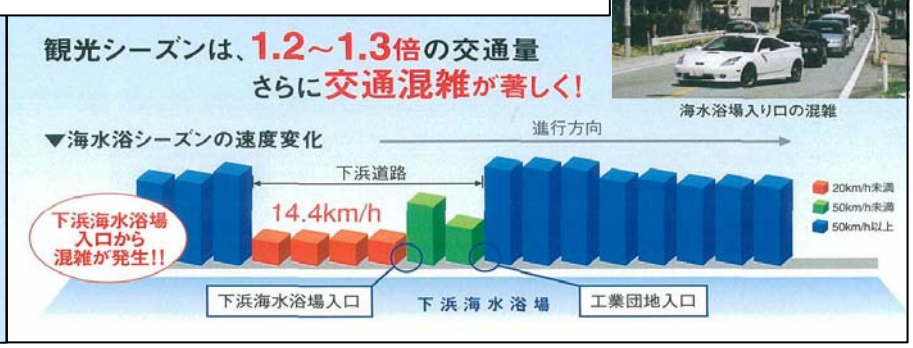
▼歩道未整備区間の状況



▼国道7号現況交通量の推移



▼観光シーズンの渋滞



海水浴場入り口の混雑

事業名	一般国道７号　秋田南（あきたみなみ）バイパス ― 整備推進
事業概要	秋田南バイパスL=8.5kmは、秋田市内の交通渋滞の緩和、安全の確保、沿道環境の改善を図り、幹線道路としての機能回復を目的に計画された完成４車線のバイパスであり、昭和５０年度に事業化し平成１４年度に全線暫定２車線供用したものです。しかし近年の交通需要の増加に伴い新たな交通渋滞が発生しているため、秋田市新屋愛宕町から新屋三小屋までの2.2kmについて４車線化を整備するものです。 今年度は、４車線化に向けて新屋地区の改良工事に着手します。

事業効果

課　　題

①２車線道路に約２．５万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
②通勤時間外においても交通混雑

整備による効果

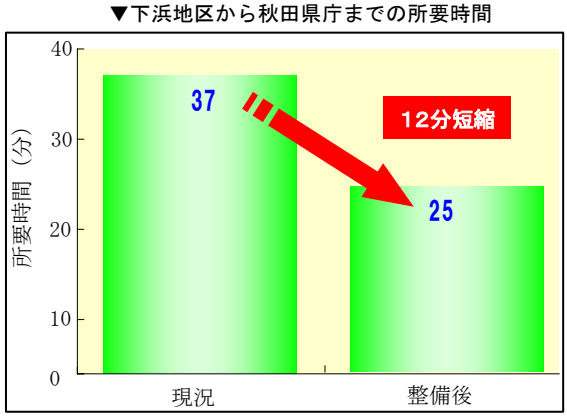
①朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
②秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼渋滞の著しい新屋こ道橋交差点



▼下浜地区から秋田県庁までの所要時間



事業名	一般国道１３号　河辺（かわべ）拡幅　―　整備推進
事業概要	河辺拡幅L=6.6kmは、一般国道１３号秋田市河辺地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、三次救急医療施設や秋田空港への速達性向上のほか、秋田自動車道へのアクセス性向上による地域間交流の促進を目的に整備を進めています。これまで、秋田市河辺北野田から上北手古野までの2.4kmについて供用済です。 今年度は、主要地方道秋田北野田線から河辺和田下石川地内までの600mについて改良工事を、河辺和田上石川までの600mについては用地買収を推進します。

事業効果

課　　題

①２車線道路に約２．４万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
②通勤時間外においても交通混雑

整備による効果

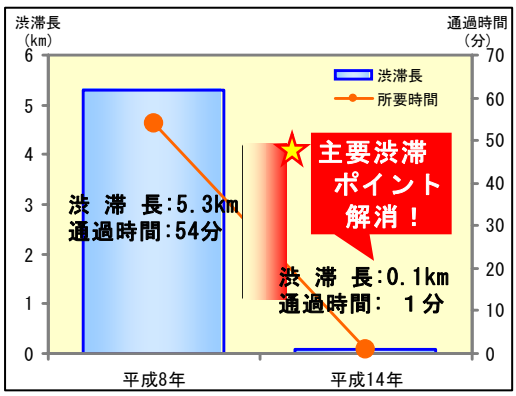
①朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
②秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼拡幅前の河辺地区の渋滞状況



▼H13年部分供用後の渋滞長及び所要時間の変化



▼拡幅後の河辺地区の交通状況

